

2 世帯のすがた

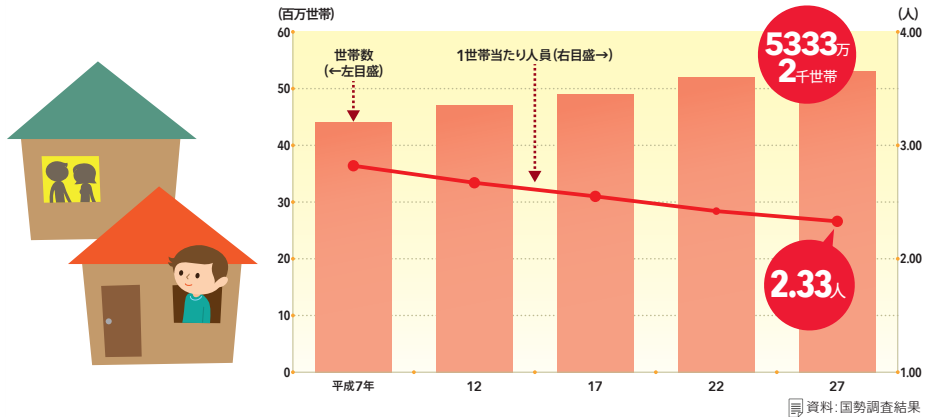


一般世帯の1世帯当たり人員は2.33人で平成22年に引き続き減少

●一般世帯数及び一般世帯の1世帯当たり人員の推移(平成7年～27年)

平成27年国勢調査による10月1日現在の我が国の一般世帯数は、**5333万2千世帯**となりました。一般世帯数の推移を平成7年以降についてみると、一貫して増加しています。

また、一般世帯の1世帯当たり人員の推移をみると、一貫して減少しており、平成22年と比べると2.42人から**2.33人**に減少しています。



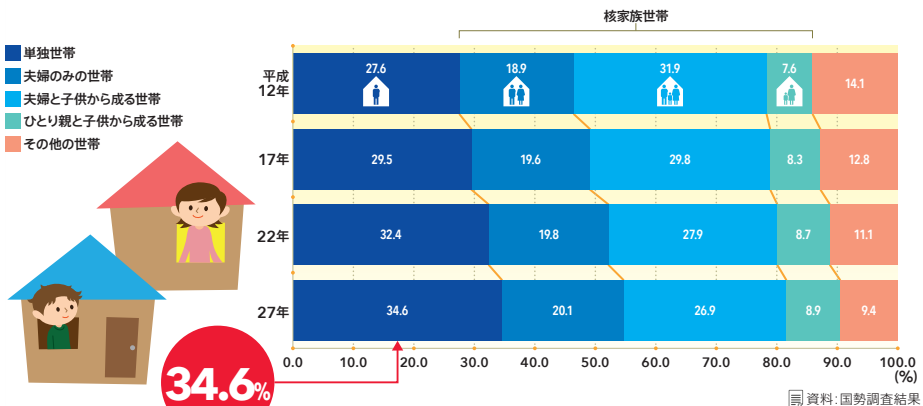
2 調査の結果からわかること

「単独世帯」は1841万8千世帯で、平成22年に引き続き増加

●一般世帯の家族類型別割合の推移(平成12年～27年)

一般世帯数を世帯の家族類型別にみると、「単独世帯」(世帯人員が1人の世帯)は1841万8千世帯(一般世帯の34.6%)、「夫婦と子供から成る世帯」は1428万8千世帯(同26.9%)、「夫婦のみの世帯」は1071万8千世帯(同20.1%)、「ひとり親と子供から成る世帯」は474万8千世帯(同8.9%)などとなっています。

平成22年と比べると、「単独世帯」は9.7%の上昇となっており、一般世帯に占める割合は32.4%から**34.6%**に上昇しています。



2 世帯のすがた

6歳未満の子どもを持つ世帯の妻は、過去20年間で家事時間が減少する一方、育児時間が増加

- 6歳未満の子どもを持つ夫・妻の家事時間、育児時間の推移(平成8年～28年)
一週全体、夫婦と子どもの世帯

子どもがいる世帯のうち、6歳未満の子どもがいる世帯について、過去20年間の夫と妻の家事時間及び育児時間*の推移をみると、夫の家事時間は平成28年は**17分**で平成8年と比べ12分増加、育児時間は**49分**で31分増加しています。一方、妻の家事時間は**3時間7分**で1時間1分の減少、育児時間は**3時間45分**で1時間2分の増加となっています。

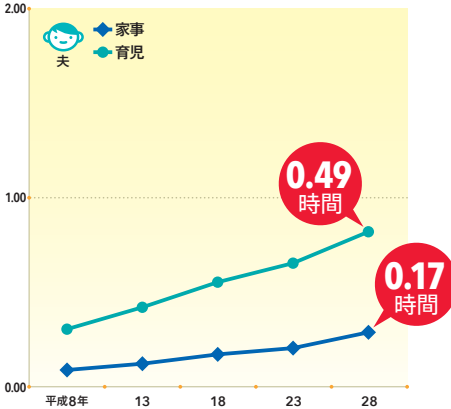
(時間、分)

	夫					妻				
	平成8年	13年	18年	23年	28年	平成8年	13年	18年	23年	28年
家事関連	0.38	0.48	1.00	1.07	1.23	7.38	7.41	7.27	7.41	7.34
家事	0.05	0.07	0.10	0.12	0.17	4.08	3.53	3.35	3.35	3.07
介護・看護	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.03	0.03	0.03	0.03	0.06
育児	0.18	0.25	0.33	0.39	0.49	2.43	3.03	3.09	3.22	3.45
買い物	0.14	0.15	0.16	0.16	0.16	0.44	0.42	0.40	0.41	0.36

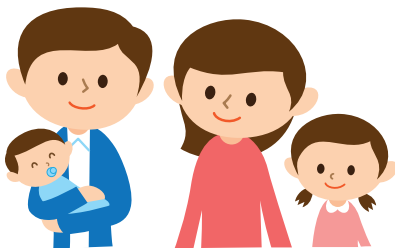
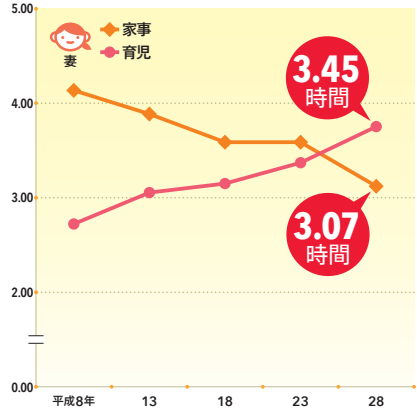
2

調査の結果からわかること

(時間、分)



(時間、分)



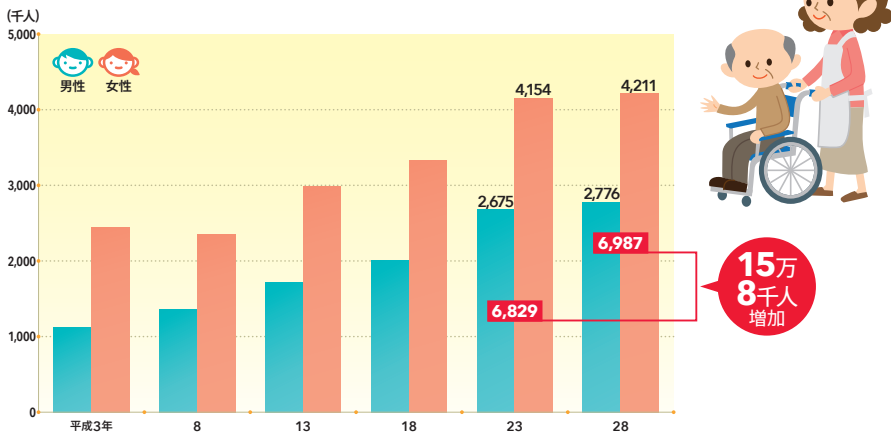
※ 該当する種類の行動をしなかった人を含む全員の平均時間 資料: 社会生活基本調査結果

2 世帯のすがた

Topics 2 介護・看護の状況

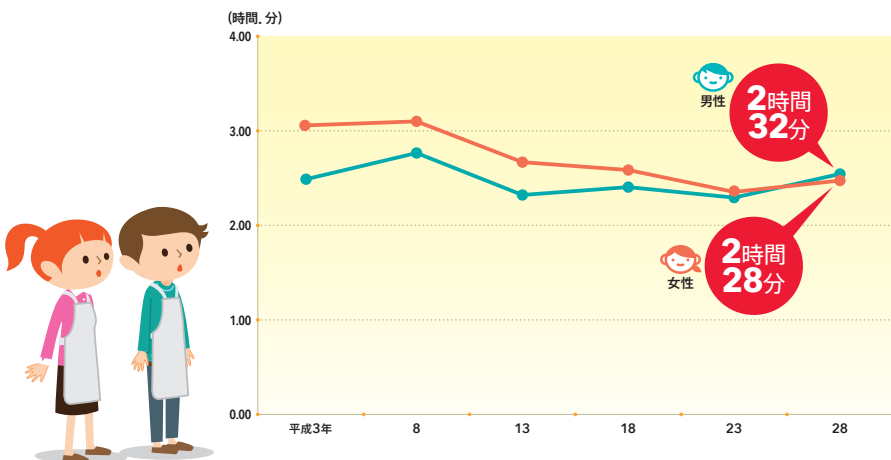
15歳以上でふだん家族を介護している人(介護者)は、平成28年は698万7千人で、23年と比べ**15万8千人の増加**となっています。男女別にみると、男性が277万6千人、女性が421万1千人となっており、女性が介護者全体の約6割を占めています。

●男女別介護者数の推移(平成3年～28年)－15歳以上



介護者のうち、調査当日に実際に介護・看護を行った人の平均時間(行動者平均時間)は、介護・看護の行動者平均時間の把握を開始した平成3年以降、男性はおおむね横ばい、女性はおむおむね減少傾向で推移しており、平成28年は**男性が2時間32分、女性が2時間28分**と、初めて男性が女性の行動者平均時間を上回りました。

●介護者の介護・看護の行動者平均時間の推移(平成3年～28年)一週全体、15歳以上



2

調査の結果からわかること